

授業科目	総合看護学				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	MI21301J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	古賀 玉緒、浅野 嘉延、山田 恵、田中 満由美							
授業概要	<p>医療における倫理に関する歴史と今日的課題について解説する。 看護理論の変遷をもとに看護の概念を明確にし、現代社会が求める看護の機能や役割・倫理規定を解説する。 医療現場における看護師として必要な基礎看護技術について解説し、演習を行う。 この講義は対面授業および遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 医療における倫理的問題について説明できる。 2. 現代社会の求める看護の機能や役割・倫理規定について理解できる。 3. 助産実践における必要な観察、情報収集、積極的傾聴法の知識と技術を習得できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	45	40	15	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			25				25	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20	40	15	0	75	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
到達目標1, 2について積極的に発問し、深い理解を示すことができる。講義・演習に積極的に取り組み、体験から自ら発言できる。				到達目標1, 2について説明できる。他者への関心を示し、対象理解のための情報収集、観察ができる。積極的傾聴の基本姿勢について説明し、基本的態度を習得できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ: 医療と倫理(浅野嘉延) 現代の医療における倫理的問題			講義		復習: 1. 講義で提示された問題について考察する。		60

			2. 課題の取り組み(詳細は講義内で説明します。	
2	<p>テーマ:看護理論の変遷と考え方(田中満由美)</p> <p>看護理論とは</p> <p>看護理論の変遷</p> <p>看護実践への活用</p> <p>看護の機能や役割・倫理規定</p>	講義	<p>主な看護理論について、予習・復習しておく</p>	60
3	<p>テーマ:医療現場における看護技術1 (山田恵)</p> <p>I. 観察技術</p> <p>・五感の活用法について解説する。</p> <p>II. 情報収集の技術</p> <p>・情報収集の技術について解説する。</p>	<p>講義</p> <p>ディスカッション</p>	<p>予習:</p> <p>1. 基礎看護技術における「ヘルスアセスメント(全体の概観)」「情報収集」について復習しておく。</p> <p>2. 看護学実習で</p> <p>1)観察の必要性を実感した場面</p> <p>2))円滑に情報収集できたもしくは</p> <p>はできなかった場面についてふり返る。</p> <p>3)自己の観察や情報収集技術における傾向をまとめる。(1000字以内)</p> <p>(講義前日13時まで担当教員にメールにて提出)</p> <p>復習:講義内容について振り返りを行う</p>	30
4	<p>テーマ:医療現場における看護技術2 (山田恵)</p> <p>III. 相談技術</p> <p>・相談技術について解説する。</p> <p>1. カウンセリング(場と特性)</p> <p>2. コミュニケーション</p> <p>3. 意思決定支援</p> <p>4. アサーティブネスとアサーション</p> <p>5. ネゴシエーション</p>	<p>講義</p> <p>ディスカッション</p>	<p>予習:</p> <p>・助産診断技術学 I P81~P92を熟読する</p>	30
5	<p>テーマ:積極的傾聴法1(山田恵)</p> <p>・コミュニケーション技術の1つである積極的傾聴法について解説する。</p>	<p>遠隔 or 対面講義</p> <p>ディスカッション</p>	<p>予習:</p> <p>1. 基礎看護技術における「コミュニケーション」について復習しておく。</p> <p>2. 看護学実習で印象に残るコミュニケーション場面について振り返る。</p> <p>1)自己のコミュニケーションにおける傾向(特徴)をまとめる。(800字以内)</p> <p>(講義前日13時まで担当者にメールにて提出)</p> <p>復習:講義内容について振り返りを行う</p>	30

6	テーマ:積極的傾聴法2 (古賀玉緒・山田恵) ・積極的傾聴法の演習を全体で行う。	講義 演習 ディスカッション	予習:進行3~5の内容について復習しておく。	30
7	テーマ:積極的傾聴法3 (古賀玉緒・山田恵) ・積極的傾聴法の演習を全体で行う。	対面講義 演習	予習:進行3~5の内容について復習しておく。	30
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				

30				
理解に必要な予備知識や技能	医療倫理・看護理論・看護過程など看護基礎知識を必要とする。			
テキスト	助産学講座 5 助産診断技術学 I 我部山キヨ子他編			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	助産学講座 5 助産診断技術学 I 我部山キヨ子他編 医学書院 <系統看護学講座 専門分野1>基礎看護学【1】基礎看護技術 I 基礎看護学 2 著:茂野香おる他、医学書院(第16版) 看護に活かす積極的傾聴法 一心が通い合うコミュニケーションをめざしてー 編著:三島徳雄他 メディカ出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	既習の学習内容も含まれるので復習しておいて下さい。また、看護学生時代の看護体験をふり返し、事前準備を整えて講義に臨んで下さい。			
達成度評価に関するコメント	評価は、レポート(学習課題参照)、発表、レポート以外の提出物(講義の振り返り)により判断します。			